

カーボンレポート

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO₂排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A1023-0051

報告書提出
事業者名

森ビル株式会社

事業所名

虎ノ門15森ビル

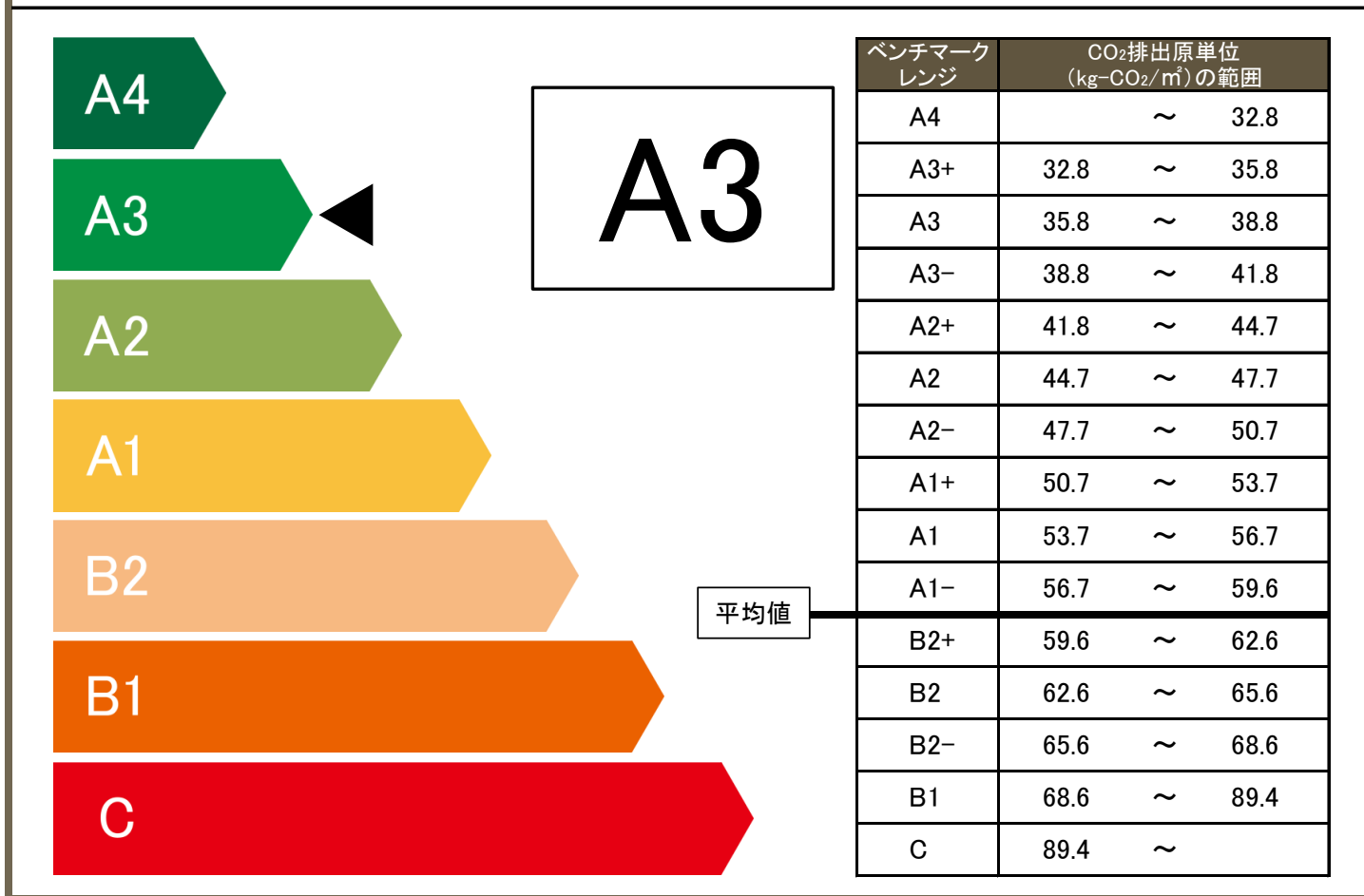
住 所

港区虎ノ門2-8-10



実績年度	年間CO ₂ 排出量	延床面積	CO ₂ 排出原単位 (延床面積当たりの年間CO ₂ 排出量)	主たる用途
2012 年	419 t	11226.00 m ²	37.0 kg-CO ₂ /m ²	事務所

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、準大規模)



◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組 織 体 制 の 整 備	テナントにエネルギー使用量提供	使用量の推計に必要な情報の提供
		テナントへの温暖化対策協力依頼
		ビル全体の推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握	自ら入手可能な情報に基づく把握	過去のデータによる傾向の把握
	エネルギー使用量の前年度比較	エネルギー等情報の対策への活用
運 用 対 策	空室・不在時等のこまめな消灯	温度計等による室温の把握と調整
	空室・不在時等の空調停止	便座ヒーター等温度の季節別設定
	フロア共用部の温度の把握・設定	外灯等の点灯時間の季節別管理
設 備 保 守 対 策	ランプ等の定期的な清掃・交換	セントラル空調のフィルター清掃
	空調フィルターの清掃・点検	
設 備 導 入 対 策		

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

虎ノ門15森ビルは、2009年に約9か月間に亘るバリューアップ工事を実施することで、①耐震性の向上、②環境性の向上、③機能性の向上を実現しました。このうち環境性の向上として、空調、照明、エレベータの改修などを行いました。また、テナントのエネルギー使用量を可視化する「エネルギーWebシステム」を導入することでテナントによる節電の取組を後押ししています。

◆ 注記

ビルのCO2排出原単位(延床面積当りの年間CO2排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO2排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO2排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO2排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO2排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。